



## 居場所を再開します！

いよいよ、夏到来の季節になりました。今年は、東京オリンピックの年でしたが、コロナウイルスの影響で来年に延期となりました。また、全国のつどいin京都も延期となり、何だか、寂しい夏となりました。でも、居場所は予定通り今のところ開所しています。長崎でも院内感染でコロナウイルスの感染者が増加しています。みなさんも、コロナウイルス感染対策の上、ふきのとうの居場所を利用してください。必ず、マスク着用し、自分の水分補給するために、水筒を持参してください。

ふきのとうのイベントなどの情報はふきのとうのホームページの月間スケジュールやブログにも掲載していきますので楽しみにしていてね！

## 居場所だよいの通信代、節約にご協力を！！

只今、居場所便りを郵送で送っていますが、経費節減のために、メールで送信を致したいと思えます。

メリットとして、家族には見られたくない方たちです。メールにすると本人のところへ届きます。但し、自分のメールアドレスを持っている人に限ります。また、このメールはショートメールは届きません。スマホメール(フリーメール)、PCメールに限ります。

みなさんは、スマホを持っている人もいるのではと思います、その方たちはメールに切り替えたいと思えます。

メールで送って欲しい人は、一度、ふきのとうへ空メールを送ってください。メールアドレスの間違いを防ぐ為です。

ふきのとうのメールアドレスは、[f-porepore@shirt.ocn.ne.jp](mailto:f-porepore@shirt.ocn.ne.jp)です。

また、メールアドレスを持ってない人は、今まで通り郵送致します。

ご協力の程、よろしくお願い致します。



## あなたの絵のポストカードや手作り雑貨を出店してみませんか？

フリースペースふきのとうでは、ポストカードにする絵を募集しています。

今まで描き溜めた絵やこれから描く絵、写真もOKです。

出来たポストカードはイベント出店で販売することも出来ます。売り上げの80%は作者にお返しします。

詳しくは、フリースペースふきのとうまでご連絡ください。

尚、ハガキの台紙はふきのとうで準備しています。

他にも手作り雑貨やアクセサリーなど販売したい方も商品と共に募集しています。

是非、フリースペースふきのとうまでご連絡ください。お待ちしております。



## おねがい

### ※手作り雑貨を作成する人へお願い

イベント出店などでは、キャラクターを素材にしたものは販売できませんので、ご注意ください。

例：スヌーピーやキティちゃんなどの入った布などです。

ご協力のほど、よろしくお願い致します。

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	5	6	7	8	9
10 山の日	11 お盆休み	12	13	14	15 お盆休み	16
17	18 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	19	20	21	22	23
24	25 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	26	27	28	29	30
31						

◆開所日は、火・土曜日13:00~17:00までですが、祝日、年末年始、お盆はお休みです。また、自然災害(台風、雪、地震など)で学校が休校の場合も居場所はお休みします。

◆学習サポート「数学」 担当:永富光朗先生 数学パズルなどを利用して、遊びながら学べます。

◆英会話 担当:池田和博先生(ぽこ・あ・ぽこの家主さん)

持ってくるもの:NHKテキストブック「英語I」(書店で買って持って来てね!)、筆記用具  
学習内容:NHKテキストブック「英語I」を教材にして学習します。また、簡単な英会話やみんながなじみのある英語の歌などを楽しく学びます。

◆毎週土曜日は英会話が終わった後、ギター教室もしています。担当:池田和博先生  
※英会話とギター教室は、担当の池田和博先生が体調を崩されており、只今、お休みしております。体調が戻れば、再開致します。



# ぽれぽれ(青年期)

月・火・金・土(祝日、年末年始、お盆お休み) 10:00~16:00  
木 8:00~14:00

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 山の日	11 お盆休み	12 お盆休み	13 お盆休み	14 お盆休み	15 お盆休み	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

◆学習サポート「英語」 担当:田向弘文先生

只今、学習サポート「英語」は、希望する子どもがいないので、お休みしています。また、希望する子どもが出たら、再開致します。

◆学習サポート「発達障がい」・小学生 担当:只今、担当される先生を探しております。決まり次第、再開します。

◆開所日は、月・火・金・土曜日の10時~16時と木曜日の8時~14時までですが、急な用事や出張などで出かけることがあります。ご用の時は事前にご連絡ください。

また、自然災害(台風、雪、地震など)で学校が休校の場合も居場所はお休みします。

上記の他に、フリースペースふきのとう主催の行事の翌日の場合も居場所兼事務所はお休みします。



# ラムネの瓶にビー玉が入っているのはなぜ？どうやって入れているの？

気温が高くなり暑くなるとさっぱりした清涼飲料水が飲みたくなりますよね。シュワとした瓶入りのラムネを子どもの頃に飲んだ人も多いのではないのでしょうか。もしかしたら、中のビー玉を取り出そうと躍起になった思い出がある人もいられるかもしれませんね。では、なぜラムネの瓶の中にはビー玉が入っていて、どのように入れているのかご存知ですか？今回はラムネやラムネの瓶の秘密に迫ります。

## 《ラムネとは？ラムネの名前の由来は？》

ラムネとは、無色透明の炭酸飲料に甘味や酸味、レモンやライムの香料などを加えたものです。ラムネの由来は幕末の嘉永6年(1853年)にペリーが浦賀に来航した際、持ち込んだ瓶入りの「レモネード」だと言われており、ラムネと言う名前はレモネードが訛ったものです。当時のラムネは、ビー玉ではなくコルク栓をしていました。ペリーが江戸幕府の役人たちにレモネードを振る舞おうと栓を開けると「ポン！」と音がしたため、銃声と勘違いした役人が思わず刀に手をかけたというエピソードが残っています。

## 《ラムネの瓶にビー玉が入っているのはなぜ？》

当時、使用されていたコルク栓にはいくつか欠点がありました。コルクが高価であることと、炭酸が抜けてしまうという点です。それらの欠点を解決したのがビー玉栓でした。独特の形をした瓶とビー玉栓は、1872年にイギリスで発明されたもので「コッドネックボトル(コッドは瓶を発明したハイラム・コッドから来ています。)」と呼ばれていました。日本では「ラムネ瓶」や「玉詰め瓶」と呼ばれています。当時ガラスは高価なものでしたが、外側から瓶の口を塞ぐのではなく、内側から炭酸ガスの圧力でビー玉が栓をするので密閉度が高く、炭酸が抜けない仕組みになり、ラムネ瓶を洗浄して再利用できるというメリットもありました。イギリスから輸入した瓶を使用していた日本でも、明治20年(1887年)頃には大阪の工場で国内生産されるようになり日本全国に広がっていきました。日本で作られた瓶は完成度が高く、イギリスでも驚かれたそうです。現在では缶やペットボトルの清涼飲料水が登場したため、ラムネの生産量は最盛期の昭和28年(1953年)と比べると5分の1に減っています。瓶のラムネは生産コストも高いのですが、現在でも生産し続けるのは、夏の風物詩として日本国民に親しまれているからだと言えるでしょう。透明なガラス瓶にビー玉が入っている様子はとても涼しげです。

## 《ラムネ瓶のビー玉はどうやって入れているの？》

ラムネ瓶のビー玉ですが、どのように入れたのか不思議に思いますよね。これは2つの入れ方があります。1つ目は、「口の部分」と「胴の部分」を別々に作り、ビー玉を入れた後、熱を加えくっつけて1本の瓶にする方法。2つ目は「口の部分」を広く作っておき、ビー玉を入れた後、熱を加え、ビー玉が出ないよう細く成形する方法で入れられていました。最近のラムネの瓶は飲み口がプラスチック製のキャップ式が多くなっているため、ビー玉を入れてからキャップをするという方法が取れています。

## 《ラムネ瓶のビー玉の取り出し方》

飲み口がプラスチック製のキャップ式のものにはビー玉を取り出せるものがあります。しかし、誤飲を防ぐため、キャップが強く締められていますので、50℃くらいのお湯で温めてから回すと外しやすいそうです。また、メーカーによってはキャップを逆方向(左回り)に回すものもあるそうです。

## 《ラムネとサイダーの違い》

似たような炭酸飲料で「サイダー」がありますが、ラムネとの違いは何でしょう？現在ではビー玉入りの炭酸飲料がラムネ、そうではないのがサイダーと定義されていますが、入っている飲み物は同じです。しかし、明治時代は、ラムネはレモン風味、サイダーはリンゴ風味と言う明確な違いがあったそうです。りんご風味のサイダーの方が値段が高かったため、サイダーは高級品、ラムネは庶民の飲み物として認識されていたようです。その後、次第にサイダーとラムネの違いが曖昧になり、サイダーとラムネの違いは、容器だけになりました。ラムネの場合、先ほど説明したとおり、内側の炭酸ガスの圧力でビー玉の栓をしますが、瓶入りのサイダーの場合、外側から王冠と言う金属の蓋で栓をします。現在はペットボトルや缶が普及したため、容器の違いもあいまいになってきており、「ビー玉が入っていないものをサイダー」「ビー玉が入っているものをラムネ」と区別しているそうです。ビー玉栓をするために入っているそうです。ビー玉栓のラムネを見ると涼しさを感じ、夏を感じさせてくれます。それと同様に昭和っぽい印象を受け、ビー玉栓のラムネが昔のように日常にあるもでのはないのだという寂しさも感じてしまいますが、夏の風物詩としてこれからも残して行きたいです。